

情報と
お知らせ

温もりを届けたい、手からころへ.....

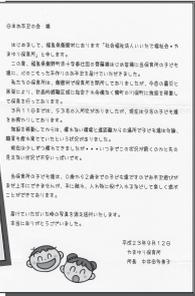
たまちゃん通信

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号
TEL0897-32-0302 FAX0897-32-0311

温もりを届けたい、手からころへ。の絆が会員の皆さんにより実現いたしました。

福島原発事故と大震災をうけられた被災地、飯館村の「やまゆり保育所」の所長さんから日本のお手玉の会へ涙と笑顔の感謝のお手紙をいただきました。



お礼状の全文をご紹介します。
日本のお手玉の会様
はじめまして、福島県飯館村にあります「社会福祉法人いいたて福祉会・やまゆり保育所」と申します。

この度、福島県飯館町赤十字奉仕団の斎藤様をはじめ皆様に当保育所の子ども達に、心のもった手作りお手玉を届けていただきました。私たちの保育所は、飯館村で保育所を開所していましたが、今回の震災と原発により、計画的避難区域に指定され余儀なく隣の川俣町に施設を移動して保育をおこなっております。3月11日までは、53名の入所児がいましたが、現在は9名の子ども達をお預かりしております。

施設を移動してからは、慣れない環境と遠距離からの通所で子ども達は勿論、職員も疲れ果てていたという状況がありました。現在は少しずつ慣れてきましたが、いつでもこの状況が続くのかと先の見えない状況で不安いっぱいです。当保育所の子ども達は、0歳から2歳児までの子どもたちです。お手玉遊びがまだ上手にできませんが、手に触れ、入れ物に投げ入れるなど楽しく遊ぶことができっております。

届けていただいた時の写真を添えて送付いたします。本当にありがとうございました。平成23年9月12日

やまゆり保育所

所長 中井多美子



斎藤さんは右から3番目の方です。

日本のお手玉の会員さんで、昨年、第16回全国「お手玉遊び」寄せ玉共演に参加され、見事な「寄せ玉遊びの演技」をご披露してください賞を獲得された方です。これを縁に被災地へ幾度となく「心のケア」にお手玉の会を代表して、全国のお手玉の会、支部のみなさんから送られた、お手玉を届けてくださいました。ご苦労さまでした。



日蘭芸術交流祭 欧州文化首都賞 受賞作品
題名「夏の宵」
日本人形作家 上妻悦子

- 受賞歴
- 2001・10 日蘭芸術交流祭「オランダ」
 - 欧州文化首都2001賞受賞
 - エラスムス賞受賞
 - 美術協会「美術の部屋」賞受賞
 - 社団法人 大阪国際ビジネス振興協会
 - ロッテルダム市賞受賞
 - 司 雅泉賞受賞
 - 2010・12 日蘭芸術交流祭 ウィーン芸術大賞受賞
 - 2011・10 日伊芸術交流祭・ローマ国立博物館展示

人形作家の上妻悦子さんから500個のお手玉

日本のお手玉の会に、このほど、東京都練馬区にお住まいの人形作家・上妻悦子(こうづま・えつこ)さんから、500個のお手玉が届きました。

お手玉は、人形製作の過程でできた鮮やかな色と、美しい柄の布で作られていて、かわいい鈴が2個ずつついています。

これは、上妻さんが東日本大震災で被災された方に贈るために作られたもので、NHK厚生文化事業団のご紹介で、届いたものです。

上妻さんは、作家の瀬戸内寂聴さんの「源氏物語」の人形を制作された方で、これまでに1,000個のお手玉を作られ、練馬区に寄贈されています。

上妻さんが、お手玉を作られるようになったきっかけは、ラジオから流れてきた作家の永六輔さんの「お手玉をすると、脳が活性化して老化防止になる」という言葉からでした。

人形製作の過程でできる端切れの利用を考えておられた上妻さんは、「これだっ!」と、迷わずお手玉作りを始められたそうです。

お手玉には、ことし、イタリアのローマ国立博物館に展示された上妻さんの人形「夏の宵」の写真と、「人形製作の傍ら、その端切れで二個一個心をこめて作りました。少しでもお役に立てば幸いです。大変お手数をおかけしますが、何卒よろしくお願ひ申しあげます。」とのお手紙が添えられていました。

上妻さんのお手玉は、日本のお手玉の会が責任を持って、福島市や気仙沼市ほか、お手玉を求めておられる被災地にお送りします。